

平成24年度事務事業評価シート

取組みコード 22141

区分	事務事業	担当課	環境課	作成日	平成24年5月25日	
事業名	犬の登録・狂犬病予防事業費		開始年度	平成12年度	予算科目	4.1.4.5.1

1. 事業の概要

総合計画での位置づけ			
部	第2部 安全で安心して暮らせるまちづくり	章	第2章 総合的な環境対策
節	第1節 環境対策の推進	基本施策	4 公衆衛生の向上
取組みの基本方向		(1)動物愛護思想の普及をはかるとともに関係機関と連携したペット飼い主への指導の徹底につとめます。	
根拠法令等	狂犬病予防法		
目的 (誰・何を対象に、何のために)	飼い犬を登録することにより、犬の所有者を明確にするとともに、どこに犬が飼育されているかを把握することができ、狂犬病が発生した場合、その地域において迅速かつ的確に対応することができるため、狂犬病予防法において飼い犬の登録が義務づけられている。また、同法により飼い犬に年1回の狂犬病予防注射を受けさせることについても、飼い主の義務としている。 また、犬の糞の放置等を防止するため、飼い主に対する指導・啓発事業を実施している。		
内容・方法 (何を行っているのか)	町では、飼い主からの登録申請を受け、登録番号を付した「犬鑑札」を発行している。また、狂犬病予防注射については、飼い主から予防注射を受けたことを証する書類を受領し、「注射済票」を発行している。なお、町では5月の上旬に、町内18会場において、獣医師と協働して「狂犬病集合注射」を実施しており、その案内通知を飼い主に送付することで、予防注射の接種を促している。犬の飼い方等の専門家による「犬のしつけ教室」を毎年実施するとともに、犬の糞の放置や動物遺棄の防止策として、啓発看板を作成・設置している。		

2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標		指標名		平成21年度		平成28年度		
		『環境対策の推進』について「満足」と感じる住民の割合(%)		31.4		46.0		
	指標の名称(単位)	増減	指標の説明	項目	基準年度(H22年度)	平成22年度	平成23年度	平成24年度
成果指標	狂犬病予防注射の接種率(%)	増	狂犬病予防注射の接種率については減少傾向にあることから、その数値を上げる必要がある。	計画値		100.0	100.0	100.0
				実績値	73.3	73.3	75.9	
				達成度※自動計算		73.3	75.9	
活動指標	狂犬病予防注射が法により義務づけられていることを周知する。	増	町ホームページ等に狂犬病予防注射が義務づけられている旨の記事を掲載している。	計画値				
				実績値				
				達成度※自動計算				

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3. 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年 度	基準年度(決算)(H22年度)	平成22年度(決算)	平成23年度(決算見込)	平成24年度(予算)
(A)事業費(円)	642,879	642,879	475,894	522,000
(B)概算職員数(人)	0.350	0.350	0.350	0.350
(C)=(B)×(E) 人件費(円) ※自動計算	2,905,000	2,905,000	2,905,000	2,905,000
(D)=(A)+(C) 総事業費(円) ※自動計算	3,547,879	3,547,879	3,380,894	3,234,000
単位当たりコスト※自動計算	48,402.2	48,402.2	44,544.1	
財源内訳(円)	特定財源			
	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他	1,946,929	1,946,929	1,795,474
	一般財源※自動計算	1,600,950	1,600,950	1,585,420
				1,585,000

4. 事業の項目別評価(分析)

項 目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	公益性 直接的である、間接的であると問わず、事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質か 必需性 当該事業を実施しなければ町民生活に支障をきたすなど、必要不可欠なものであるか	高 高	A
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成23年度の目標を達成している 基準年度と比較して成果が向上している	× ○	B
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができている (判定基準) A 成果が向上していて、費用も縮減している B 費用が増加しているが、費用の増加率よりも成果の向上率の方が高い C 成果が低下しているが、成果の低下率よりも費用の縮減率の方が高い D 成果が向上しているが、成果の向上率よりも費用の増加率の方が高い E 費用を縮減しているが、費用の縮減率よりも成果の低下率の方が高い F 費用が増加し、成果も低下している	向上率 103.55% 縮減率 95.29%	A
総合評価 ※自動判定		良好に実施できている	

5. 特記事項

--

6. 1次評価(担当課)

評価結果	☐ 現状維持	☒ 改善して実施する	☐ 廃止
理由	狂犬病予防注射の接種率が減少傾向にあることから、その比率を上げる必要があるため		
今後の方向性	狂犬病予防注射の接種を促進するため、現在、町ホームページに記事を掲載しているとともに、集合注射の開催に係る広報紙の記事や案内ハガキにより、本予防注射を年1回接種する必要がある旨周知しているが、必要性を理解していない飼い主も見受けられることから、周知に係る文面を工夫する。また、犬の飼い主に対するマナー啓発として、平成23年度に新たな試みとして犬の糞の放置を防止する啓発看板とあわせて、路面に貼付するステッカーを作成したが、その効果を見極めたい。		

7. 2次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等	ただし、所管課の方向性のとおり制度周知に工夫が必要である。		

8. 外部評価(行政改革推進委員会)

評価結果	☐ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等	/		

9. 外部評価(実施のない場合は2次評価)を踏まえた対応案(担当課)

現状のまま引き続き事業を実施するほか、狂犬病予防法により年1回の狂犬病予防注射の接種が義務づけられていることの理解を深めていただくよう、集合注射の実施に関する広報紙やハガキの文面を工夫する。

10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 改善して実施する	☐ 廃止
理由・改善方針	当面は現状のまま引き続き事業を継続しつつ、所管課の対応案のとおり、狂犬病予防注射接種についての理解を深める取組みを実施するものとする。		